

6章 付属施設工

6.1 排水構造物

6.1.1 一般

排水工の柵類、人孔、パイプ類、ボックスカルバート、側溝類に適用する。

数量は、下表の項目別、規格別・材料別に区分して算出する。

種 別	規 格	延長 (m)	箇所	床堀土 埋戻土 (m ³)	コンクリ ート (m ³)	基礎切込 材料 (m ³)	基礎コン クリート (m ³)	蓋板 (組)	鉄筋 (kg)
柵 類			○	○		※		○	
マンホール			○	○		※	△	○	
パイプ類		○		○	○	○	○		※
ボックスカ ルバート		○		○	※	※	※		○
側溝類		○		○	※	※	※	○	

(備考) 1. 床堀土・埋戻土については、「第1編共通編」及び「第5編2章土工」による。

2. ※印：歩掛を使用せず別途計上する場合

3. △印：必要に応じて計上。

6.1.2 柵類

街渠柵（雨水柵）等は、下記の区分により数量を算出する。

1) 街渠柵（雨水柵Ⅰ型A, B, Ⅱ型D）

区分	名 称	規 格	単位	数 量		摘 要
				I-A, B型	II-D型	
(型)	上 部 柵		個	○		
	下 部 柵		個	○	○	
	蓋 金 物		組	○	○	
	ちり除目皿	φ = cm	個	○	○	
	中間部柵	H = cm	個	○		

2) 導水水抜柵

	名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
導 水 水 抜 柵	導水水抜柵（呑口）		個		
	末端柵		個		必要に応じて
	蓋金物		組		
	ちり除目皿		個		
	かさ上げブロック	H = cm	個		必要に応じて
	かさ上げ柵	H = cm	個		必要に応じて

3) 集水桝

名 称	規格	単位	数 量
下 部 桝		個	
中 間 桝		個	
桝 蓋		個	
ちり除目皿		個	

4) マンホール

名 称	規 格	単位	摘 要
上 絞 部 ブ ロ ッ ク	型	個	
下 部 絞 ブ ロ ッ ク	型	個	
下 部 桝	型	個	
継 足 管	D = cm	個	
支 管	D = cm 用	個	
蓋 金 物		組	
縁 石 バ ン ド		個	
足 掛 金 物		個	

備考 1) 継足管は、各々の高さにより算出する。

2) 上部絞ブロックⅠ、Ⅱ型、下部絞ブロック、継ぎ足し管、下部桝には足掛金物を含む。

3) 下部桝には、躯体（直立管）、底版（基礎コンクリート）、及び床版（Ⅲ型）一式を含む。

4) 副管設置の場合は、90°曲管、塩ビ管（VU）、基礎切込材、コンクリート、型枠を別途計上のこと。

6. 1. 3 管渠類

管渠工の数量は、管の種別ごとに区分して算出する。

管 の 種 別	規 格	単位	数 量

管 種 別	ヒューム管 (外圧管1種、2種)
	鉄筋コンクリート管 (RC) (外圧管1種、2種)
	コルゲートパイプ

備考) コルゲートパイプは、仮設に使用することを標準とする。

6. 1. 4 ボックスカルバート

ボックスカルバートの数量は、下記のとおりとする。

断面寸法	1ブロック当り長さ (mm)	1ブロック当り重量 (t/個)	単位	数 量
			m	

- (備考) 1. 長さ、重量別に数量を区分する。
2. 基礎材、床堀、埋戻しは別途計上する。

6. 1. 5 側溝類

U型側溝等及び側溝蓋の数量は、下記のとおりとする。

(1) 側溝及び側溝蓋

区 分	規 格 (寸法、重量)	施工箇所区分	単 位	数 量	摘 要
側 溝		一 般 部	m		
		法面小段部	m		
		法面縦排水部	m		
側溝蓋		一 般 部	m		
		法面小段部	m		

- (備考) 1. 基礎材、床堀、埋戻しは2. 5. 8床堀早見表を参考に別途計上する。
2. 法面小段部について、施工基面が小段の高さと同じになる時期に設置可能な場合は一般部を選択する。

1) 区 分

区 分	種 別	規 格	摘 要
側 溝 類	U型側溝		
	V字型側溝		
	皿型側溝		
側 溝 蓋	コンクリート蓋	1種	歩道等で車両が載らない箇所に使用
	〃	2種	路側等で乗用車程度の車両が載る可能性がある箇所に使用
	鋼製蓋	T-2	歩道等で乗用車程度の車両が乗入れがあり集水が必要な箇所に使用
	〃	重車両用	取付道路等で重車両が乗入れがあり集水の必要がある箇所に使用

6. 2 暗渠排水工

(1) 路床排水、遮断排水、法面地下排水の数量は下記のとおりとする。

種 別	床堀区分	排水管 (φ) (mm)	100m当り数量			床堀選定機種
			排水管 (m)	フィルター材 (m ³)	床堀 (m ³)	
路床排水	上幅60cm	50	100	11.8	12.0	山積0.28m ³ 級 (平積0.2m ³ 級)
	上幅50cm	50	100	10.3	10.5	
遮断排水	切深50cm	200	100	19.4	22.5	山積0.28m ³ 級 (平積0.2m ³ 級)
	60cm			25.7	28.8	
	70cm			32.6	35.7	
	切深50cm	150	100	20.7	22.5	
	60cm			27.0	28.8	
	70cm			33.9	35.7	
	切深50cm	100	100	21.7	22.5	
	60cm			28.0	28.8	
	70cm			34.9	35.7	
法面地下排水	幹 線	200	100	19.4	22.5	山積0.28m ³ 級 (平積0.2m ³ 級)
		150		20.7		
		100		21.7		
	支 線	150	100	6.9	8.7	山積0.28m ³ 級 (平積0.2m ³ 級)
		100		7.9		
		50		8.5		
	枝 線	100	100	7.9	8.7	山積0.28m ³ 級 (平積0.2m ³ 級)
		50		8.5		

(備考) 1. 上表の数量は、(2) 暗渠排水工断面図により算出したものである。

2. 暗渠排水管を設置しない場合は、別途算出する。

(2) 暗渠排水管

	管種別	規格・寸法	100m当り数量			
			排水管 (m)	フィルター材 (m ³)	床堀 (m ³)	埋戻し (m ³)
暗渠排水管						

1) 管種別

種 別	無孔・有孔別	摘 要
硬質塩化ビニール管 ポリエチレン管		
波状管・網状管		

(備考) 管種選定にあたっては、経済性を考慮して選定する。

2) 暗渠排水工断面图

		概 略 图			
路 床 排 水	上幅b=60cm	上幅b=50cm			
遮 断 排 水	切深H=50cm	切深H=60cm	切深H=70cm		
法 面 地 下 排 水	幹 線	支 線	枝 線	平面 图	
				 凡例 	

6.3 冬囲い工

冬囲い工の数量は下記による。

(1) 竹類の場合

名 称	単 位	数 量	摘 要
支柱1本（防風材有り）	本		
支柱1本（防風材無し）	本		
支柱3本（防風材有り）	本		
支柱3本（防風材無し）	本		
支柱4本（防風材有り）	本		
支柱4本（防風材無し）	本		
支柱5本（防風材有り）	本		
支柱5本（防風材無し）	本		
支柱6本（防風材有り）	本		
支柱6本（防風材無し）	本		

(2) 丸太類の場合

名 称	単 位	数 量	摘 要
支柱1本（防風材有り）	本		
支柱1本（防風材無し）	本		
支柱3本（防風材有り）	本		
支柱3本（防風材無し）	本		
支柱4本（防風材有り）	本		
支柱4本（防風材無し）	本		

(3) 縄類の場合

名 称	単 位	数 量	摘 要
防風材有り	本		
防風材無し	本		